

## 平成27年度第2回社会教育委員会会議録

日時：平成28年3月17日(木)

午後7時30分から午後9時30分

場所：あわら市役所 101会議室

### (会議日程)

#### 1 開 会

#### 2 教育部長挨拶

#### 4 議長挨拶

#### 5 議 題

(1) 平成27年度第1回会議録について

(2) 平成27年度事業経過報告について

・文化学習課所管      ・スポーツ課所管

(3) 平成28年度事業計画について

・文化学習課所管      ・スポーツ課所管

(4) 「地域の活性化についての提言」

① 地域内での世代間ギャップの解消方法について

② 地域を生かすための活動拠点としての公民館について

③ 生涯学習推進員の積極的な活動について

④ 「地域を知る」活動の方策について

⑤ 「地域でのスポーツ・ウォーキング」について

(5) その他

#### 6 閉 会

### (出席委員)

島田 充寿	堀田あけみ	北田 和彦	山本 篤	能 正治
佐孝 修彦	圓道 忠雄	林 秀	由水 勇	大宮 早苗
宇都宮高栄	永棹 厚子	辻 邦雄	長谷川幸子	

### (欠席委員)

三上 徹

### (委員以外の出席者)

教育長	大代 紀夫	文化学習課長	笹井 和弥
スポーツ課長	三上 進	スポーツ課長補佐	大角 勇治
スポーツ課長補佐	出島 瑞恵	文化学習課補佐	田中美紀恵

中央公民館長補佐 長谷川元人 郷土歴史資料館長補佐 橋本 幸久  
金津創作の森事務局次長 川崎 直樹

【開 会】

【教育長挨拶】

【議長挨拶】

【平成27年度第1回定例会会議録について】

議長 平成27年度第1回定例会会議録について、ご意見をお願いします。

議長 特にないようですので承認とさせていただきます。

【議 題】

(2) 平成27年度事業経過報告について

文化学習課所管について、文化学習課長が、スポーツ課所管について、スポーツ課長が各事業の報告を行う。

【質疑応答・意見交換】

議長 それぞれの事業報告について報告していただきましたが、何かご質問ありませんか。

議長 各課においていろいろな事業を行っていますが、この年度末に各課で反省会等は行っているのですか。

事務局（文化学習課長）文化学習課においては、毎月事務連絡会を行っています。行事においては終わってその都度すぐ反省会を行い、ご意見を伺って次年度に活かせるようにしています。

事務局（スポーツ課長）スポーツ課も同じです。大会終了後、携わった職員またはスポーツ推進員、体育協会など各団体に反省点、問題点を聞き次年度に活かすようにしています。

議長 わかりました。他に何かございませんか。

委員 9公民館がありますが、公民館を主体とした祭りの呼び名がみんな違いますが、統一した呼び名にすることはできないのですか。

事務局（文化学習課長）金津地区の祭りは、もう30～40年近くこの呼び名です。すでに定着しているので、変えることはむずかしいです。芦原地区はもともと祭りに呼び名はなく、公民館祭りといっていたので歴史的な差があるということをご理解いただきたい。

委員 私は、あわら市が合併した時に統一した名前にした方が良かったのではないかと感じていますが、歴史があると言われればそれまでですが。

**事務局（文化学習課長）** 金津地区の伝統的な名前を取り入れて、芦原地区がネーミングしていることはいいことだと思います。これから歴史を作るという意味もありますので。

**議長** 私は逆に各地区ごとに独自の名前を付けて楽しんで挨拶を交わすなど、文化協議会の助成があってできることですが、独自性があっていいと思います。

**委員** 議長と私の考えの違いですが、公民館を主体とした祭りに関してはその地区の人だけではないと思います。各公民館祭りはほかの地区からも参加できるようなネーミングがあれば行きやすいかなと思います。

**委員** それは、ネーミングではないと思います。金津地区は実行委員会形式なんです。文化協議会からの助成金、区長会からの補助金や協賛金をもらっているからオープンにして、その地区にたくさんの人に来てもらおうという趣旨で行っているので名前があった方がいいと思います。

**委員** 北潟はどうでしょうか。

**委員** 北潟祭りと公民館祭りをいっしょにすることはいいと思うけど、いろいろな事情でできないとか、それはやっぱり違うと思います。

**委員** 何か行きづらい雰囲気があります。

**委員** それは、違います。実行委員会としては、自分のネーミングで地元主体であることは間違いありませんけれども、その中で特徴あるものにしてほかから来てもらうようにしています。ただPRの仕方がちょっと下手かなというところはあります。

**議長** よろしいですか。

**委員** ちょっと前から引っかかっていたものがあったのでお聞きしたかったのです。

**委員** 同じ日にしないようにしてほしい。今年度だと本荘公民館まつりと北潟公民館まつりの開催が重なっていたりすることがあったが、日時のバッティングだけは避けてほしかった。

**議長** ほかにないようでしたら次の議題に移りたいと思います

#### 【議 題】

##### （3）平成28年度事業計画について

文化学習課所管について、文化学習課長が、スポーツ課所管について、スポーツ課長が各事業の報告を行う。

#### 【質疑応答・意見交換】

**議長** 平成28年度の事業計画について各課から説明していただきましたが、質問はありませんか。

**委員** 観月の夕べは平成28年度からは観光商工課で行うのですか。

**事務局（文化学習課長）** 観月の夕べにつきましては、観光事業として定着してきたとのご意見もございまして、平成28年度からは観光商工課で実施ということ

で予算についても観光商工課で計上させていただきました。実行委員のメンバーですが、今まで入っていらっしゃった方にはそのまま協力してほしいということと、文化協議会の各部門ですが、お茶席とか芸能部門についても協力要請があれば協力してほしいと文化協議会には話しております。

**議長** 充分引継ぎを行っていくということですね。観月の夕べについては文化学習課の所管ではなくなるということですが、ほかに質問はありませんか。

**委員** トリムマラソンについて、開催要項の参加資格ですが、単独走小学3年生以上の健康な方、但し車いすでの参加はできません。となっていますが、車いすで参加できないという意味を教えてください。

**事務局（スポーツ課長）** コースの環境、整備上を見ますと車いすでの参加は危険ということ。普通の人と、車いすの人を分けて発走するのも時間的にむずかしく対応できないということでお断りをしています。

**委員** ということは、伴走者がついていてもだめということですか。

**事務局（スポーツ課長）** そうですね。2年ほど前から車いすでの参加はできませんかというような問い合わせがありますので、対応できないことから要項に記載させていただいています。

**委員** この文面を見ますと、障害者の方がスポーツに親しむという基本的なことから考えるならば、目の不自由な人、耳の聞こえない人も走ることはできます。尚且つ、3Kジョギングのところでマイペースで行くと書かれています。そういう点では差別的な大会になるのではないかと考えていますが、どのようなお考えですか。

**事務局（スポーツ課長）** 車いすでの参加というのは、競技用の車いすというものを思い浮かべて危険性があると考えています。普通の車いすで自分のペースでということになれば、みんながスタートしてから後からスタートすることもできますが、それにしても毎年10回に分けてスタートしています。たとえば2Kでスタートしたとしましても、次3K、5Kのランナーが団子状態で来るというような状況となります。そこに車いす等が前を走っていると、タイムを狙っている方もいますので、そのような人に対してもむずかしい状況なのでお断りをしています。

**委員** 私には、違和感があります。

**議長** 北田委員、このことについて何かございませんか。

**委員** 大会において安全がいちばんだということでの判断だと思います。目の悪い方は伴走者といっしょに走っているというところもあるので、車いすでの安全上、そういう点でのご理解をいただきたいと思います。

**議長** 佐孝委員の言っていることは一般論的なことです。実際私も走っていますが、正直むずかしいだろうと思います。

**委員** 過去に義足をつけて走られた方はいないのですか。

**事務局（スポーツ課長）** 私は参加されたというのは聞いておりません。

**委員** 生涯スポーツの一環として考えているのであれば、分け隔てする方がおかしいと思います。

**事務局（スポーツ課長）** 確かにそうですが、現在のコース状況、スタート状況等ではむしろかしいと思います。今後の課題ではあります。みんながスタートして一番最後に1K位で別のコースを設定することは考えられないことはないと思います。

**委員** 本当に参加したいという人がどれくらいいるのかということが大事だと思います。やたら改善しても誰も参加しないと意味がないです。その辺は声をかけていないのですか。

**委員** これはあわら市民だけじゃないでしょ。全国でしょ。それならば尚更そんなふうになると・・・

**事務局（スポーツ課補佐）** 今年問い合わせが1件だけありました。

**委員** あったのですか。

**委員** 実際県内で障害者の方が走るというのはどれだけあるのですか。あまり見たことがない。

**委員** 福井マラソンはどうなんですか。

**委員** 福井マラソンでも認めていない。

**委員** だから状況をまず先によく調べないと要項だけ先に出せばいいというものではないと思う。

**委員** 私が言っているのは、車いすという書き方をすると車いすのことだけではないことをイメージしている。目の不自由な方は、伴走者がいたら走れるんだから走ってあげればいいんだし。

**委員** 目の不自由な方は過去にも参加しています。

**委員** こういう書き方をするという事は、何か引かかる参加者もいるかなと思います。

**委員** 車いすというものがやはり軽車両となるので危ないと言えば危ないです。わかっている人は言わないと思う。車いすのコースありますと謳えば、参加する人が増えると思うけど健常者といっしょに走ることによってコースの見直しを全部しなければならぬと相当負担にもなります。

**議長** 文書等のことで今後検討していただいて、大会主催者側にも実益の問題もあるので十分できなかつたらごめんなさいと言うしかありません。

**委員** 他の県を参考にいただければよいと思います。

**委員** これはご存知のとおり障害者差別禁止法が4月1日施行なので、当然いろいろなことで合理的配慮ということで、今国を挙げて障害者差別をなくすという方向でやっていますから、車いすの方が走ればそれに越したことはないのですが、先ほどから出ているように安全的な部分での保証ができないということでの配慮ということで組んでいただけるような方向性ではもっていきたいと思います。あくまでも市としてはそういう方もいっしょに走れることが望ましいと思っています。

す。決して差別的なものは感じさせてはならないと思っています。また考えていきたいと思います。

**議長** 貴重な意見をいただきました。ほかに何かございませんか。

**委員** 12ページの生涯スポーツ大会の第2回市民スポレク祭のところに6種目書いてありますが、平成28年度を見ると日数的には6回ありますが、グランドゴルフのことが書いてありません。11月20日の第3回市民スポレク祭スポーツデーのところに該当するということですか。

**事務局（スポーツ課長）** 市民スポレク祭の6種目ですが、種目の変更がございます。11月20日の第3回市民スポレク祭スポーツデーと書いてありますが、これは以前はグランドゴルフを行っていました。時期的には違いますが、グランドゴルフに代わってスポーツデーという種目を行ということを考えております。

**委員** グランドゴルフはなくなったのですか。

**事務局（スポーツ課長）** はい、なくなりました。

**委員** なくなった意味があるのですか。

**事務局（スポーツ課長）** 体育協会が行っているのですが、グランドゴルフにつきましては協会もしっかりしておりまして、参加人数等も1回200人くらいで会員も200～300人くらいいるということで、普及されている競技については、各協会にお任せしていこうと、体育協会としては、いろいろな種目を取り入れてたくさんの人に出ていただくという趣旨で行っていますので、来年度からはスポーツデーということでお願いしたいと変更しております。具体的にこのスポーツデーの内容につきましてはまだ固まってははいないのですが、11月20日の9時に各ブロックから何名でも結構です。参加してください。トリムパークかなづの体育館に集まってください。集まった人数でポイント制にして順位を決めるといふか評価をさせていただく。そして集まった人対しては何をするかというニュースポーツ的なもの、誰でもできるようなレクリエーション的なことを1時間ほどして帰っていただくというような形で今大まかなところは決まっております

**委員** 今の説明だとゲートボールもソフトボールも協会がしっかりしているのになくなるということになる。

**委員** 趣旨としてはいろいろな競技を取り入れて、みんなができるようなものを探し出そうということで、グランドゴルフについてはある程度参加人数も多いしそこは定着したから、体育協会の全体の協力としてはとりあえず卒業してもらって、今後もしろいろな競技を入れ替えていくという方向で進んでいますというのが実態です。

**議長** よろしいですか。それでは平成28年度の事業計画についてはこれで終了します。

## 【議 題】

(4)「地域の活性化についての提言」

## 【意見交換】

**議長** 次に、(4)「地域活性化の提言」ということで、皆さんのご意見を伺いたいと思いますが、これは2月24日の社会教育委員の自主研修会の時に考えたことなのですが、今回は、「提言」となっておりますが、この内容について審議するのが今日が第1回めとなりますので、「提言」とらわれず各委員からの意見を各委員が了解したという議事録をもって「提言」という形にしたいと思います。議事録が大事です。しっかり議事録に残しておきたいと思います。そういうことで了解していただきたいと思います。①から⑤までのテーマですが、「地域」とありますが、これは平成28年度の東海北陸社会教育研究会において、坂井ブロックが「地域の活性化」についてをテーマとしております。そういうこともあって「地域」とテーマを絞っております。①から⑤まで皆さんの意見をお願いします。まず、①の地域内での世代間ギャップの解消ということで何かご意見はございませんか。

公民館等に若年層が集まってこないということで、何かみんなでいっしょにできることはないかということでのテーマですが、何か良い方法はないですか。大人自身が子どもや青年の能力を意外と理解・信用していないことがあるかもしれないし、または理解しようとしていない部分があるのではないか。あるいは大人が学習不足のため能力がないので相手にされない。世代間で興味ある分野が違うなどご意見ございませんか。

**委員** 世代間のギャップの解消というと、若い人も年配の人も集まれるような行事、例えば親子でそば作りをすることで公民館を開放するというような集まる拠点をひとつにして呼び込むこともひとつの方法かなと思います。若い人たちは、普段は仕事も遅くまでしているので集まることはできないと思うが、土日に公民館を開放できるかというのが疑問になってきますが、その形でギャップを解消していくことができるかなと思っています。ひとつのことをみんなで作り上げるというテーマがあればちょっと興味のある人は寄ってくると思います。

**議長** 老若男女、ひとつのテーマでつくりあげる、祭りがそうですね。

**委員** むずかしいですね。今の若い人はいろいろなところから情報を取り込むことができるので、あまりいっしょに交わって何かをしようという意識は薄いように思います。そこをどういうふうにもみんなで楽しく何かできるように持っていくにはどうしたらいいのかなということもよくわからないのですが、子どもたちの興味を持てるものは何があるのかなと考えているのですが。

**議長** 何かひとつをみんなでやり遂げるということでは、祭りは効果があります。

**議長** ほかに4つのテーマがありますから、次のテーマに移ります。二つ目は「地域を生かすための活動拠点としての公民館について」です。ご意見をお伺いします。

**委員** 各地区館によって全部違うと思います。ケースバイケースでその地域、地域のことを考えてやっていかないと、ここで話してその地域に照らし合わせても合

わないことがあります。先ほどの世代間ギャップというものは、金津祭りの本陣飾りを見ていると若い人も年寄りも入っています。そこがまたいいところです。あそこがいいから真似をしようと行事を増やしてもただでさえ行事がいっぱいだと思っているのだから、新しい事業を増やすのではなく、今ある事業の中にどう踏み込むかということを経験で考えていった方がいいと思います。

**議長** まず地域の現在の活動や状況をじっくり見てからそこから始めるということですね。

**委員** そうです。そういうところから始めていかないとこんな上のところで行っても、地域の実情に合わないと思います。

**議長** そのときには、公民館長ひとりに企画をお願いするのではないのですね。

**委員** もちろんです。金津の村部に行けばちゃんと体育協会もあって区長さんと繋がっていますから、体育協会のゲートボール大会を地区で行っているのであれば、少年の部からつくれるのであれば、5人いなくても3人で1チームでもいいのならひとりで家族で出られる。そういうことを企画する。そうすればゲートボールの普及にも繋がります。そういうつながりを持つためにどうしたらいいかということは、新たな事業を作るのではなくて今行っている事業の中でアイデアを出し合っで行う。そこが一番です。

**議長** 今の事業を改良していく。新しい人も公民館にまず入って来られるように配慮していく。

**委員** まずいちばん簡単にできるのはレクリエーションです。スポーツ、レクリエーションから入って次は文化的なもののパターンです。後は保育園の保護者会などを抱き込むことができるかどうかなんです。それはアイデアの出し方だと思います。そのために③番目の生涯学習推進員さんがいらっしゃるのですから。

生涯学習推進員さんは公民館の活動を補助するとあります。すべて連携しています。これ1件だけを取り上げるのではなく、公民館というものは全体的に体協から何から全部いっしょなんです。地域のためにどう連携を取りますかという話が基本であって、連携を取れている公民館と連携が取れていない公民館があります。

**議長** そういう意味では、公民館を中心にして体協など日常的に集まっているいろいろなアイデアが出るという部分もあると思います。逆にそういうことがあまりないのでしたら公民館からお願いしますというような形に持っていくのかなと思います。そういうことで、③番目の生涯学習推進員の積極的な活動について、ご意見を伺いたいと思います。

**委員** 地域の現状があって、もう花の苗を見るだけで手一杯というのがあります。だから仕事を持っていくと生涯学習推進員のやり手がない。地区の事情があります。生涯学習推進員イコール花の苗を植えて水をやることって決まっている区もあります。

**委員** 各地区生涯学習推進員と老人会とで行っているのではないですか。

**議長** 地区の実情に応じてということですね。もうひとつ④番目ですが、「地区を知る」活動の方策についてですが、私は、坪江公民館でカルタづくりを行っています。今公民館長と話をしている、館長はカルタの形のあるものが欲しいと言っていますが、私はあっさりと言葉集的な、地域でのいろいろな見方があるからそれを読み札にしてもらえばいいのではないかとっています。公民館のホームページで募集するという手もあるのかなと館長と話しています。

**委員** 地域を知るのは基本的に住民の方をお願いしたいので、住民の方が自分の地域を知らない方が多いです。由水先生が行っている宿場町の話ももっと金津の旧町のひとに知ってほしいと思います。今回行う春日神社展にしても本荘地区ですがその地区で広めながら、おらがふるさとはこのようなものがあると言っているようにして貰いたいというのがこのポイントだと思います。

**議長** 地域を知るということで他にご意見はないですか。

**委員** 先ほどの公民館のことなのですが、少しでも利用される方がいたらいいと思ひまして、ミニ図書館としていろいろな新聞を置いてはどうでしょうか。ご年配の方でも来られると思います。

**議長** そうですね。公民館長はよくサロンにしたいと言っています。金津図書館は新聞が楽に読めます。

**委員** 図書館はいいんです。公民館は新聞を買うお金がないです。日刊ふくいとか福井新聞は平生取っているからいいのですが、それ以外の読売新聞とか日本経済新聞は読んでいとすごくいいのです。

**委員** 地域を知る活動方策ですが、昔の金津の写真を持ち寄って子どもたちに伝えたり、お年寄りからいろいろな方言を子どもたちに伝承するものがあるかと思ひます。

**議長** 昔の写真は、あわら湯のまち駅で開湯130周年記念事業でも行ってましたね。

**委員** 教育長、この件は小学校で行っていますね。

**教育長** そうですね。総合的な学習の時間の中でいろいろお年寄りと交流したりしています。今おっしゃるように公民館に呼び込む手立てとしてそういうことを行っていくことはいいことですね。公民館長にお願いしているのは、とにかく子どもを呼ぶ手立てを何か考えてほしい。ひとつでもいいから新しく入れてほしい。子ども来れば大人がいっしょについてくる。まずは、公民館に一回も来たことがない人がたくさんいると思ひます。先ほどのちはやふるカードは分けた枚数1,400枚で取りに来た人が900人もいと、そういうことで少し来ただけでもいいから何か考えてください。考えるばかりではなくやりながら考えてほしいと言っています。地域もきつと同じだと思ひます。

**議長** 地域のことを知りたかったら公民館に行けばいいというようなやり方をしていけばいいと思ひます。私は出来たら資料を持っていこうと思ひっていますが。横山古墳群のCDは置いてあります。

**委員** その通りです。資料は置いてあるだけではなくて説明できるといいと思います。

**委員** 地区公民館は日曜日は入れるのですか。

**委員** 入れることは入れますが職員はおりません。そこも問題なんです。

**委員** 平日しかだめな人は行けないのですし…

**委員** 夜間もだめです。

**議長** グループで借りておくかですね。

**委員** 貸館になってしまうのは仕方ないことです。そのためにも一人でも指導員がいて補佐できるような人がいればいいと思います。

**委員** 新聞も今の若い人は取らないですしね。Yahooニュースやツイッターなどインターネットにニュースが出てしまうので。

**委員** ローカルな話は新聞を見ないとわからないので問い合わせがあります。

**委員** アパートに住んでいる人は、ほぼ新聞を取っていないです。

**委員** ねっとで見ることができるとローカルはやっぱり。

**委員** ローカルも見ることができます。

**議長** 次の⑤番目の「地域でのスポーツ・ウォーキング」についてですが、前回の定例会にも言いましたが、地域の高齢者に地域を出歩いてもらいたいということ、自分の地域がどのように変わってきているかを伝えていくことが必要でないかと思えます。以前地域の文化活動と言ったこともあるのですが、人も動物であり、動いている中で環境、社会の認知ができる。身体を動かして初めてできるものだと思います。認知の予防対策にもなってくると思えます。道を歩いていて人と話をして、世の中の変化や地区のルールを知ることは非常に大事なことだと思います。そういうことで地域的なスポーツかウォーキングか、今盛んに30分歩くとか行っている人がいます。そういうことを推奨していただけたらと思っています。途中で公民館で休憩することもできればなお良いことだと思います。

**委員** 公民館が近くにある人はいいですけど、地域性はありますが田んぼの中を歩くことはもういいです。そういうことを勧める場所はどこですか、情報を出すところはどこですかという話です。公民館とか健康長寿課とか手を組んで行うとかです。

**議長** 5つのテーマを出しましたが、今日だけでなくこのようなテーマについては今後また考えていきたいと思えます。

**委員** 今年波松小学校が3月に休校となります。地域の方を先生にして行っている子ども教室があります。そういう中で来ていただいた人が偶然、戦争時代の波松の暮らしの様子だとか波松の昔話だとか方言のことだとか、昔の校区の写真を持って来てそれを子どもたちにプレゼントしてくださったりというようなことをしてくれました。公民館がないということもありますが、学校にそういう人たちが来ることが楽しみであって、子どもたちと話すことが楽しみである。そういう繋がりのあることが大事だなと感じました。子どもたちは目を輝かせて楽しそうに

話を聞いていたということがひとつ、また逆の立場で子どもたちはとても便利な社会の中にいるので、便利なことに慣れているので自分の手や身体を動かして体験するのが大事だということを感じています。そういう中で地域の人たちとの交流があり、また子どもたちがお年寄りを訪問して楽しませてあげるといった経験を積ませることも大事だと思います。そういうことがここで参考になったらいいと思います。

**委員** ①番の地域内の世代間ギャップのことで、それぞれの公民館祭りについての話し合いの場に子どもたちも参加できるようなことができたらいいいと思います。

**議長** 企画に参加させるということですね。

**委員** いろいろ公民館を利用していくうえで、現在の利用の仕方を見ていますと、公民館に利用する時間に行って、運動なり話し合いをして、終わったら帰るだけというような利用方法がほとんどだと思います。私たちの若いときは、勤労青少年ホームでスポーツから文化的なものまで利用していて、利用者で利用者連絡協議会というものを作っていました。利用目的が異なるのでそれぞれどのようにして維持していくなどを話し合いました。協議会の中ではなかなか接点がないので実行委員会を作り、カラオケ大会、盆踊りをしたりして交流を深めながら、利用者同士の横のつながりが出来たという経験があります。急に公民館を魅力的なものにして人を集めようとしてもむずかしいところがあるので、利用している人が接点を持って利用する頻度を高めるようなことを起点にしていろいろ考えていけばいいのかなと思います。いきなり新しいイベントを作って参加してくださいと言っても、それなりに魅力を感じる人は参加するでしょうし、全然魅力を感じない人は参加していただけないと思います。何かをひとつ変えるということから始めたらどうかなという気がします。

**委員** 毎週月6回、細呂木公民館でシルバーですけど、ソフトバレーを約20名の方としています。ほかの方とお会いした時に挨拶くらいはするのですが、交流はありません。ところが先ほどおっしゃられたように、公民館の中に定期講座があります。その定期講座に何回か参加したことがあります。そういう中で細呂木地区の方とお話しする機会があります。もう一つ私はふるさと講座をさせていただいていますが、私の近所の老人会の方に来てくださいとお話したら来てくださったことがあります。生粋の金津の人が、金津生まれではない私の話を熱心に聞いてくださっていました。

**議長** 社会教育というものは心開いて繋がっているものだと思います。

今回の5つのテーマは、各委員の皆様に次回にまたお話しいただけたらと思います。

#### 【その他】

芦原青年の家について説明

社会教育委員改選について

**【連絡事項】**

県社会教育連絡協議会総会および東海北陸社会教育研究大会等について事務局から説明

**【閉会】**

**副議長** 皆さん、長時間ご審議いただきありがとうございました。来年度も社会教育委員の自主研修会を開きたいと思っていますし、来年度は東海北陸研究大会が敦賀で開催となっています。委員予算も組んでもらっていますので、是非とも10月13、14日はご参加くださいますようお願い申し上げます。閉会とします。